

学校法人樟蔭学園では、学生等の安全を確保するために、学校施設の耐震化を計画的に実施しています。  
2023年（令和5年）4月1日現在の大阪樟蔭女子大学の耐震化の状況については、以下を御覧ください。

	保有面積 ① ㎡	新耐震基準で 建築 ② ㎡	旧耐震基準で建築 ③					耐震化率 (②+⑤) / ①	
			耐震診断実施済 ④=⑤+⑥				耐震診断未実施 ⑦ ㎡		
			耐震診断実施率 ④/③	耐震性あり 或は補強工事中 ⑤ ㎡	耐震性なし ⑥ ㎡				
<b>全体</b>	<b>65,900</b>	<b>45,559</b>	<b>20,341</b>	<b>20,341</b>	<b>100.0%</b>	<b>20,341</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100.0%</b>
小阪キャンパス	46,095	25,754	20,341	20,341	100.0%	20,341	0	0	100.0%
関屋キャンパス	19,805	19,805	0	0	0.0%	0	0	0	100.0%

公表する数値は、「私立学校校舎等実態調査について（依頼）」（令和5年6月28日付／5高私助第11号）

（以下、「実態調査」※とする）で回答した2023年（令和5年）4月1日現在における、法人が設置する大学・短期大学・高等専門学校に係る耐震化率とします。

※「実態調査」における調査対象建物

○調査対象施設

学校設置者が保有する学校施設で以下に該当するもののうち、学生生徒・教職員等が日常的に使用する建物

- ・非木造施設：2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物
- ・木造施設：3階建て以上又は延床面積500㎡超の建物

○調査対象外施設

- ・学校設置者が保有する学校施設以外の建物の一部を借用又は一時使用している場合
- ・仮設校舎
- ・調査時点において使用されていない建物
- ・学生生徒・教職員が日常的に使用していない建物（倉庫や機械室等）
- ・耐震性のない建物について、当該建物の機能を耐震性のある建物に移したため、使用していない建物
- ・改築により取り壊す予定で、調査時点において既に使用していない建物
- ・耐震補強の工事中のため、使用していない建物